

ボリショイ・バビロン

華麗なるバレエの舞台裏

9月19日 Bunkamura ル・シネマほか全国順次公開!

株式会社東北新社（東京都港区・植村徹社長）は、世界最高峰のバレエ団、ボリショイ・バレエを描いたドキュメンタリー映画『ボリショイ・バビロン 華麗なるバレエの舞台裏』（原題：『BOLSHOI BABYLON』）を配給、9月19日よりBunkamura ル・シネマにて公開致します。

長い栄光の歴史と比類なきパフォーマンスで、芸術界の頂点に君臨してきたロシアの至宝、ボリショイ・バレエ団。これまでスターダンサーたちをきら星のごとく輩出し、時に国のシンボルとして外交の舞台を彩ってきたこの栄光のバレエ団が、2013年1月、衝撃的な事件で世界を震撼させます。芸術監督セルゲイ・フィーリンが襲撃され、硫酸を浴びせられたのです。折しも、2013/14年のシーズン、本作の撮影クルーが、史上初めてバレエ団の撮影許可を得ることに成功。秘密のヴェールに包まれた舞台裏にカメラが入ります。

事件の捜査が進むにつれ、事態はボリショイ・バレエの内紛にとどまらず、国家をも巻き込んでいきます。その混乱の中、カメラが捉えたものとは。そして、事件関係者、スターダンサーたちの口から語られる赤裸々な事実。傷つきながらも、なお踊るための努力を惜しまないダンサーたちは、それぞれに葛藤を抱えつつ、より高い芸術への闘いを始めます。すべては、最高の舞台を創り出すために――。

「ボリショイ・バレエ団の今」に迫ったドキュメンタリー。バレエの世界の情熱と真実、そして生まれる至高の美の秘密を、ぜひご覧ください。

〈作品概要〉

『ボリショイ・バビロン 華麗なるバレエの舞台裏』 2015年/カラー/イギリス映画/87分

原題：『BOLSHOI BABYLON』

監督：ニック・リード/製作兼共同監督：マーク・フランチェッティ/製作総指揮：サイモン・チン（アカデミー賞受賞『マン・オン・ワイヤー』、『シュガーマン 奇跡に愛された男』）マキシム・ポズドロフキン

出演：マリーヤ・アレクサンドロワ(プリンシパル)、マリーヤ・アラシュ(プリンシパル)、セルゲイ・フィーリン（バレエ・芸術監督）ウラジーミル・ウーリン(劇場総裁) ほか

配給：東北新社/Presented by クラシカ・ジャパン/宣伝：セテラ・インターナショナル

公式サイト：<http://bolshoi-babylon.jp/>



尚、本作は、株式会社東北新社が運営するクラシック専門CSチャンネル「クラシカ・ジャパン」が協力してプロモーションを行います。

東北新社会社概要

代表者：植村 徹

設立：1961年4月1日

資本金：24億8,700万円

事業内容：総合映像プロダクション

<http://www.tfc.co.jp/>